

成人

問い合わせ 保健センター ☎985-4118

行 事	場 所	月 日 曜	時 間	内 容	備 考
個別栄養相談	保健センター	1月9日(水)	13:00~16:00 (申込制) 1週間前まで	管理栄養士による糖尿病・高血圧・痛風・腎臓病・肝臓病・高脂血症・肥満などの食事指導と相談	お1人1時間の相談です。 1週間前までに電話で予約してください。
		1月23日(水)			
		2月12日(火)			
健康相談	保健センター	随(月)~(金)時	8:30~17:00	血圧測定 ※自動血圧計もあります。	健康手帳をお持ちの方は、ご持参ください。
デイケア (精神保健)	保健センター	2月1日(金)	9:30~15:00 (申込制)	○学習会(精神保健福祉士による) ○話し合い	参加を希望される方は必ず保健師までご相談ください。
健 診	松山市農協北伊予支所	1月18日(金)	総合健診を今年度受けられていない方は、こちらの健診も利用できます。 ○お問い合わせは 松山市農協北伊予支所 ☎984-2171		

補導センターだより

入りやすく、見えにくいところをキーワードに
「犯罪が起る機会をなくそう」

松前小学校生徒指導主事

山中 正和

昨年「地域で子どもを守り育てるフォーラム」での、小宮信夫先生(立正大学文学部教授)の講演の中で、次のようなお話がありました。「不審者かどうかを判断するのは非常に難しい。そのために、『知らない人』『不審者』になつてはいないだろうか。その考えが強くなると、子どもたちは大人へ不信感を抱き、地域の方とコミュニケーションをとらなくなる。コミュニケーションが無ければ、互いが互いのことに無関心となり、それが犯罪の温床となる。大切なのは、どのような状況、場所で見つているかということである」。学校でも「不審者に気を付けよう」とよく指導しますが、「不審者」というものはつきり判断できなくては、気を付けようもありません。深く反省する内容でした。深く

では、どのようなことに気を付けたらいいのでしょうか。小宮先生が、「防犯」の上でキーワードに挙げられたのが、「入りやすく、見えにくいところ」でした。犯罪者にとって、「入りやすい」「逃げやすい」ところ、「見えにくい」「気付かれにくい」ところとなります。実際に、駐車場の車の陰、幹線道路から入った人通りの少ない道、ごみが散乱している場所、夜間、夕方(仕事や買い物に出ており、意外に大人が近くにいない)といったところが、それに当てはまる場所や時間帯になるでしょう。現在、この「入りやすく、見えにくいところ」をキーワードに、「地域安全マップ作り」(子ども、保護者、地域の方が一緒に通学路などを歩き、危険箇所を掲載した地図を作成)に取り組む学校や地域が増えています。「いかのおすし」のように不審者に出会ったとき、どう行動するかも大切ですが、未然に犯罪を防ぐという視点から見れば、犯罪が起る機会をなくす指導も重要視されてくることでしょう。一度、ご家庭でも「入りやすく、見えにくいところ」をキーワードに、校区を子どもと一緒に散歩がてら歩いてみてはいかがでしょうか。学校でも、子どもたちにあいさつの大切さや地域行事への参加をしっかりと呼びかけ、地域とのコミュニケーションを大切にしたり、犯罪が起りやすい場所をしっかりと知らせたりしていきます。今後も、犯罪者が「入りやすく、見えやすい」地域づくりになお一層努めていきます。